

サイパン市調査報告書

令和7（2025）年12月

青梅市企画部

○本調査について

サイパン市の文化、教育、治安など、現地の視察や関係者から聞き取り等を行い、その内容を今後の都市間交流に向けた検討に活かすことを目的として、本調査を実施した。

○調査の実施時期

1 サイパン市への現地視察

令和7（2025）年7月4日～7月6日

秘書広報課長、同課都市交流係長

2 交流自治体からの聞き取り

(1) 北海道登別市 令和7（2025）年6月24日

(2) 千葉県香取市 令和7（2025）年6月25日

秘書広報課長、同課都市交流係がオンラインにて実施

○報告内容

1	サイパン市の特徴（地理）	4 項
2	天候	5 項
3	人口	5・6 項
4	住民の特徴	6 項
5	治安	7 項
6	伝統、祭り、イベント	7～10 項
7	居住地域	10 項
8	教育	10 項
9	歴史	11～16 項
10	文化、スポーツ	16～18 項
11	産業	18～19 項
12	環境問題	19 項
13	政治	19～20 項
14	市政の取組	20 項
15	都市間交流	20～22 項
16	交通 車社会、航空	22 項
17	出入国 ビザ 税関申告	22 項

18 その他.....	22～24項
本報告書の作成にあたって.....	25項

1 サイパン市の特徴（地理等）

サイパン市はアメリカ合衆国の自治領である北マリアナ諸島にある。

サイパン市は、東京から直線距離で南に2,359キロメートルに位置するサイパン島と、その南に位置するアギガン島（無人）で構成されている。

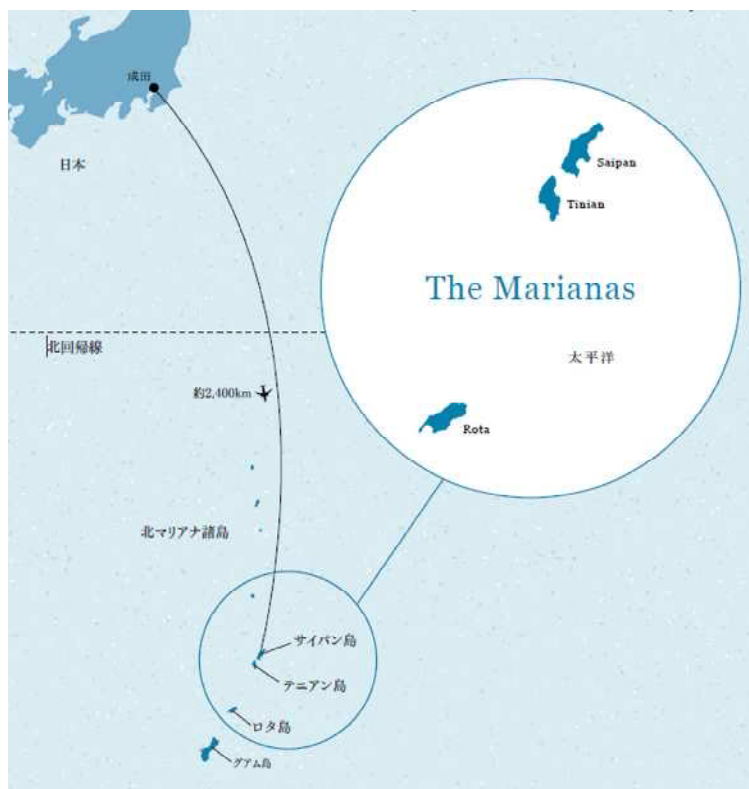
日本との時差は1時間で、サイパン市の方が1時間進んでいる（日本が正午の時、サイパン市は午後1時）。

サイパン島は面積115.4平方キロメートルあり、比較的平坦な地形で、最も高い山であるタポチョ山の標高は475メートルである。

内陸部には熱帯雨林が広がり、野生のマンゴーやパパイヤの木に成る果実を日常的に食している。

サイパン島の沿岸部は透明度の高い海に囲まれ、海にはサンゴ礁が生息しており、白浜の美しいビーチが広がる。

サイパン島から船で約5分程の沖には、マリンスポーツに最適な無人島「マニャガハ島」がある。マニャガハ島は周囲約1.5kmで、徒歩20分ほどで島を一周することができる。



マリアナ政府観光局「北マリアナ諸島オフィシャルガイド」から抜粋



【白い砂のビーチ】

2 天候

年間平均気温が 25°C を超える熱帯海洋性気候で、1年を通して気温の変化が少なく温暖な気候で、雨季（5月～10月）と乾季（11月～4月）がある。雨季には短時間に大量の雨を降らすスコールが多くなるほか、台風の通過による影響を受けることがある。

ただし、日本の梅雨のように1日中雨が降り続くことは少ない。日差しが非常に強く、短時間での日焼けや日射病に注意が必要。

発生しうる災害として、台風があり、過去には島の半分の地域が台風被害により電気、水道が長期間停止するなどの甚大な被害を被った。

なお、マリアナ海峡が深く、津波が起こっても海峡で相殺されるため、津波の被害が起こることあまり考えられないとのことだった。

3 人口

人口は約43,000人で、減少傾向にある。

住民は先住系のチャモロ人、カロリニアン系住民のほか、フィリピン系、

中国系、韓国系、日系、ミクロネシア系、および米国本土アメリカ系住民などで構成されている。

4 住民の特徴

生活の中に様々な人種がいることから、他の民族との関りが日常的にある。日本人が多く住んでいた歴史もあり、日本人に友好的に接してくれる。

買い物時の店員との会話等は英語で行うことになるが、穏やかな雰囲気の方が多く印象で、初めての英語圏での買い物にも挑戦しやすいと感じた。

現地で出会った子供たちは、シャイで少し人見知りをするものの、慣れると人懐っこく、真面目な印象を受けた。

サイパンの方々は休みの日は家族で過ごすことが多く、海沿いの公園で午前中から夕暮れまでバーベキューをするのが定番の過ごし方となっている。親戚同士で集まり、複数の家族でバーベキューをすることもしばしばあり、大人は食事や飲み物とともにおしゃべりを楽しみ、子供たちは海で遊んでいる光景が、多くの海岸沿いで見られた。



【海岸での家族団欒の様子】

5 治安

重大犯罪はほとんどない。発生する犯罪の例としては、窃盗や麻薬使用がある。

観光客としては、日中観光地を楽しむ場合にはあまり心配は無いが、置き引きへの注意や夜間の一人歩きは避けることが推奨されている。

法令により 18 歳未満の喫煙および公共の場所または禁煙サインがある場所での喫煙は禁煙法により禁止されている。

法令により 21 歳未満の飲酒が禁止されており、また、22 時～翌 8 時までのアルコールの販売は禁止されている。

6 伝統、祭り、イベント

(1) 解放記念日

アメリカ合衆国の独立記念日にあたる 7 月 4 日には、解放記念日 (Liberation Day) に、サイパン市主催のフェスティバルとパレードを行う。サイパン市が行う最大のイベントである。

パレードは、同じ北マリアナ諸島のテニアン市、ロタ市とともにを行い、各市から団体が参加し、盛大に開催される。今年は、パレードに約 50 の団体が参加していた。踊りなどのパフォーマンスを披露するチーム、社会的なメッセージを発するチーム、フロートというトラックなどに独自の装飾を加えたチームが参加する。

フロートに参加できる団体についてのみ、装飾やパフォーマンスなどが審査され、最も優れたフロートに選出されると賞金が授与される。島を象徴するフロートは、大規模かつ繊細につくられており、大きなインパクトをもたらしていた。

パレードの主催者席および来賓席には、主催者のサイパン市長を始め、テニアン市、ロタ市の各市長や北マリアナ諸島知事、北マリアナ連邦議会議長のほか、アメリカ軍幹部が列席されていた。

フェスティバルは、約 1 ヶ月行われる。今年は、6 月 12 日から 7 月 6 日の毎週木曜日から日曜日の午後 6 時から午後 10 時頃まで開催された。開催日は毎晩大変な賑わいであると伺った。フェスティバル内は、専用チケットで支払うシステムで、専用チケットはサイパン市

役所職員が販売すると伺った。多くの販売ブースが立ち並び、サイパンならではの食が提供されるほか、民芸品の販売やコンサートなど様々なイベントが行われる。



【パレード：日本人会が神輿を担ぎ、浴衣・法被姿でパフォーマンスをする様子】



【パレード：フロートとダンサーのパフォーマンス】



【パレード：来賓者席の様子】

(2) サイパンマラソン

世界陸上連盟（World Athletics）と国際マラソンおよび長距離競争協会（AIMS）の認証を受けた大会で、毎年3月に開催される。市民ランナーに加え、海外からも参加する。

種目は、フルマラソンのほか、ハーフマラソン、10キロ、5キロがあり、600名～700名がエントリーし、海沿いの道を景色を楽しみながら走ることができる。

(3) ロードレース「ヘル・オブ・マリアナ」

毎年12月頃に開催されるロードサイクルのレースで、100kmおよび50kmの部があり、サイパン島のアップダウンのあるコースを走り抜ける過酷な大会といわれている。

日本からも多くの方が参加されており、令和6（2024）年12月7日に開催された同大会では、男子100kmの部で日本の選手がワンツーフイニッシュを飾っている。

また、青梅市スポーツ協会から選手が派遣されている。

(4) 復活祭（イースター）

サイパン市にはキリスト教カトリック教会を信仰されている方が多

く、復活祭の1か月前から、イエスキリストと同じ苦しみを分かちたために、好きなものを断つなどの習慣がある。

復活祭の日には、高さ7～8メートルはある大きな木の十字架を、教会から島で最も高いタポチョ山の頂上付近まで、大勢の信者が担いで上る儀式がある。

7 居住地域

サイパン島西部の海岸沿いには住宅地が点在しており、ほとんどの官公庁についても、このエリアに設置されている。

南部の空港北側のほか、南東部の平地にも住宅街がある。

タポチョ山の中腹辺りにも住宅があるが、これらのほとんどが別荘か高級住宅が建てられている。

8 教育

小学校が5年間、中学校が3年間、高校は4年間となっている。

公立校は、小学校9校、中学校2校、高校3校があり、他に私立校がある。

9月中旬から6月中旬までを1年度としており、学校開設期間でもある。

千葉県香取市は、公立中学校同士のオンライン交流を行っている。

また、サイパン市内の中学生から希望者を募り、応募者の中から選抜された生徒を北海道登別市に派遣している。

サイパン島内の大学は1校あり、補助金を申請する必要があるが、学費は無料で通学することができる。



【中学校入口付近】

9 歴史

サイパン島は第一次世界大戦後の大正9（1920）年から、日本の委任統治領となり、沖縄などからの多くの移住者が砂糖産業や漁業に従事していた。

太平洋戦争の戦況が悪化した昭和18年（1943年）、日本は絶対国防圏を設定し、その中核に位置するサイパンは日本本土防衛の最前線と位置づけられた。

1944年6月からアメリカ軍がサイパン攻略を開始すると、アメリカ軍が上陸する海岸線、空港、タポチョ山、ガラパン地区など、島内の各地は壮絶な地上戦の舞台となった。

アメリカ軍がサイパン島を制圧しつつある中、島の北部に追い詰められた日本の兵士や民間人の多くは、捕虜になるのを恐れ、島北端のマッピ岬やマッピ山頂からの自決を選択した。

マッピ山頂の断崖は、ここに追い詰められた多数の日本人が投身自決した「スーサイドクリフ」として知られている。

また、マッピ岬は、多数の日本人が「バンザイ」と叫びながら、自ら海に飛び込み命を絶った場所として「バンザイクリフ」と呼ばれている。



【バンザイクリフ】

(1) シュガーキングパーク（砂糖王公園）

日本統治時代に『彩帆（サイパン）公園』と呼ばれていた場所は、現在シュガーキングパーク（砂糖王公園）となっており、サイパン島でのサトウキビ栽培と製糖業に貢献し、砂糖王と呼ばれていた松江春次氏の像や、サトウキビの運搬に使用していた蒸気機関車が展示されている。

園内奥には『彩帆香取神社』がある。昭和 6（1931）年に現在の場所に社殿が竣工されたが太平洋戦争の戦火で昭和 19（1944）年にほぼ全てが焼け落ちてしまった。その後、昭和 60（1985）年に日本の香取神社連合会などの手により現在の姿に再建され、現在の「サイパン香取神社」となった。



【松江春次氏の像】



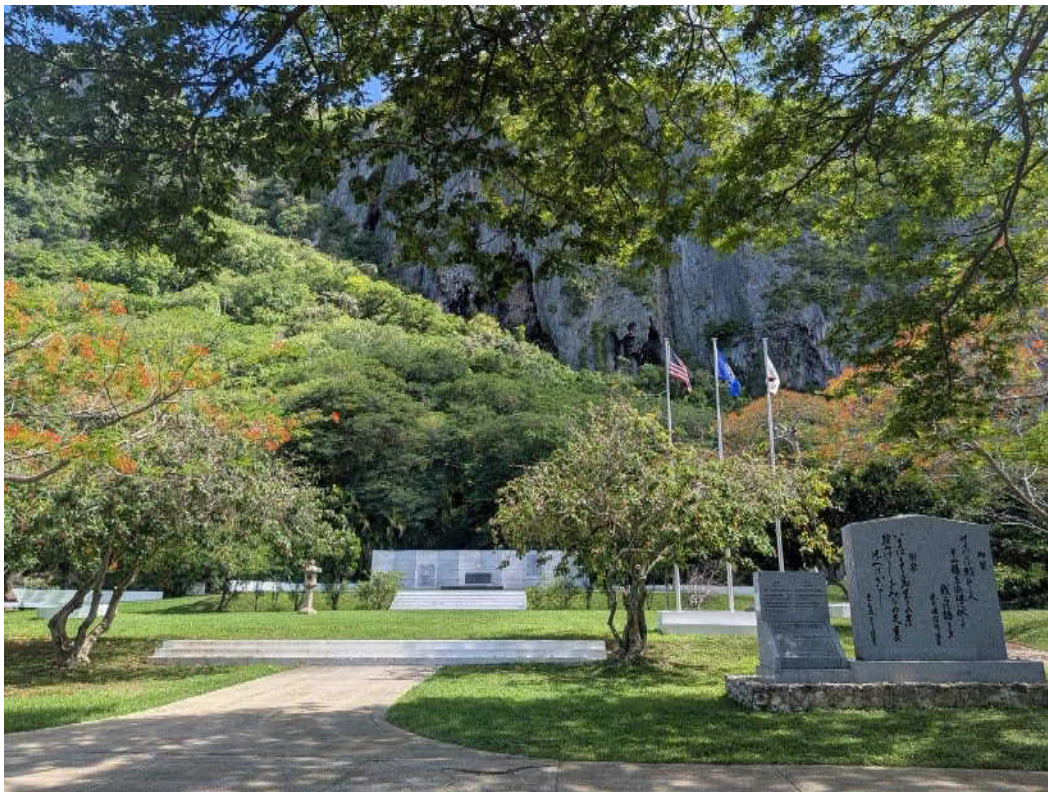
【彩帆香取神社】



【彩帆香取神社内掲示市街地図面、昭和16年～昭和18年までの様子】

(2) マッピー山（スーサイドクリフ）周辺

日本政府建立の「中部太平洋戦没者の碑」や韓国人慰霊塔をはじめとする多くの慰霊碑が建立されている。この碑は日本政府の負担により定期的な清掃や除草がされている。



【中部太平洋戦没者の碑（碑の後方がスーサイドクリフ）】



【マッピ山頂の慰霊碑】



【旧日本軍が使用していた戦跡】

(3) マッピ岬（バンザイクリフ）周辺

岬には戦没者に向けた慰霊碑が多く建てられている。バンザイクリフなどでは、年に1回戦没者慰霊祭が執り行われている。



【太平洋之塔】



【マッピ岬（バンザイクリフ）】

※白い親子像の間から、日本が見えるようになっている。

(4) 現サイパン国際空港周辺（日本海軍のアスリート飛行場）

日米両軍が激しく戦った場所で、多数の慰霊碑が存在している。当

時日本軍が使用していた防弾施設や倉庫、さらに戦車や対空機銃などが散在している。



【独立歩兵第317大隊顕彰碑】



【旧日本軍の倉庫跡】



【放置された戦車と対空機銃】



(5) タポチョ山

山頂には展望台があり、サイパン島の全景が360度見渡せる。頂上には両腕を広げた形のキリスト像が立っており、このキリスト像はサイパンのシンボルとなっている。

アメリカ軍がサイパン島に侵攻した際には、タポチョ山の奪還に激しい戦闘が行われた。山頂には戦闘の記録として複数のパネルが展示されており、英語および日本語で表記されている。



【タポチョ山山頂】



【タポチョ山にある記録パネル】

(6) アメリカンメモリアルパークおよびビジターセンター

太平洋戦争終結50周年を記念して、ガラパン地区に平成6（1994）年に建設された広大なアメリカ国立公園。園内にはビジターセンターがあり、第2次世界大戦の歴史的な資料や写真が展示されている（全て英語と日本語で表記）。シアターでは、日本語字幕の映像を見ることができる。



【ビジターセンター内の展示およびシアター】

10 文化、スポーツ

(1) 市立図書館

先住民族の文化や言語を子どもたちへ伝えているほか、伝統工芸品

の作成体験を行い、サイパンの地に古くからある伝統の継承を図っている。



【市立図書館】

(2) スポーツ施設、市民に盛んなスポーツ

オレアイスポーツコンプレックスという総合運動場があり、陸上の400メートルトラック、天然芝のサッカー場、野球場、ソフトボール場、バスケットボールや体操を行う体育館も隣接している。

大人用のサッカーコート2面と子ども用のサッカーコート1面を備えたナイター設備付きのサッカー専用施設が民間事業者によって整備されている。サイパン市を含む北マリアナ諸島地域としてアジアサッカー連盟に加盟しており、この代表チームもこの施設を利用してトレーニングを行っている。

なお、屋外スポーツ場は、それぞれナイター対応しているほか、応援席や配信用の部屋を備えている。週末は多くの市民が利用している。サイパン市では、男性は野球、女性はソフトボールが多くの人に親しまれている。日曜日には様々な場所で試合が行われており、ソフトボールの試合には選手の夫が、野球の試合には選手の妻がコートの外の日陰でのんびり試合を楽しんでいる光景が見られる。



【陸上競技場】



【野球場】



【体育館】



【サッカー場】



【スケートボードパーク】

11 産業

北マリアナ諸島の財政は、主に観光業収入と米国からの財政援助により成り立っている。

サイパンは、かつて、日本人にとって最も近い海外旅行先として人気だったが、平成12（2000）年以降日本からサイパンへの旅行者は大幅に減少し、現在は中国人と韓国人が観光客の多くを占めている。

世界中の人々の往来が出来なくなった新型コロナウイルス感染症の影響により打撃を受けた観光業は現在も全盛期にはほど遠く、大型免税店が閉業するなど、厳しい状況が続いている。

12 環境問題

温暖化による、海面上昇の影響により、海岸線が後退している。

対策として、大きく切り出した石を積み、海水が島に侵食することを食い止める措置が取られている箇所がある。

海面上昇により海岸線が後退したため、沿岸に立っていた木々が横倒しになっている様子を、あらゆるところで目にすることができる。

また、環境保護のため、日焼け止めクリームの使用が制限されている区域がある。



【護岸のための石積】



【海面上昇による倒木】

13 政治

令和7（2025）年7月現在のラモン・RB・カマチョ市長は就任2期目である。

令和８（２０２６）年１１月に次期市長選挙が予定されており、カマチョ市長は立候補を予定している他、他にも出馬を表明されている方がいる。

カマチョ市長をはじめとした北マリアナ諸島のロタ市、テニアン市の市長連合が最近構成され、自治体同士の連携を深めて諸課題に対応していく体制をとることとされている。

14 市政の取組

自治体間交流事業に積極的に取り組まれている。

また、青少年育成に対し積極的に支援を行っており、市主催の催しには、阿波おどりチームなどの団体に出演する機会を創出している。

「マナムコセンター」と呼ばれる６５歳以上の高齢者が日中に集う施設を設置している。車による送迎サービスがあり、サロンのような役割を担っている。都市間交流を受け入れる際に、行程に含めることが多く、施設利用者へパフォーマンスを披露してもらうこともあるとのことだった。



【マナムコセンター】



【サイパン市役所】

15 都市間交流

日本の自治体とは、千葉県香取市および北海道登別市との交流を行っている。そのほか、サイパン市の青少年で構成された阿波踊りチームが高円寺阿波踊りに参加しており、青梅市を含む杉並区の交流自治体に紹

介されたことがある。

(1) 千葉県香取市

サイパン市にある香取神社へ、毎年、香取市にある香取神宮の関係者が現地を訪問し、日本人会やサイパン市民との交流がなされていた。このような交流を背景として、令和３年１２月に姉妹都市協定の締結がなされた。

令和４年度から中学校１校でのオンライン交流が開始され、令和５年度からは中学校３校がオンライン交流を行っている。

オンライン交流の場では学校や自己紹介を行うなどのコミュニケーションが図られており、異なる文化に触れたり、外国語でのコミュニケーションを体験できたりと、子どもたちの国際交流の貴重な場として評価されている。

(2) 北海道登別市

平成１７年４月に登別市長がサイパン市を訪れた際に、サイパン市長から交流について打診を受け、平成１８年１１月に友好都市提携同意書の締結がなされた。

毎年２月にサイパン市から中学生の訪問団を受け入れている。受入れの際には交流協会の協力により、全員ホームステイを行っている。

生きた英語でコミュニケーションを図りながら、異文化に触れることで、視野を広げて外の世界への興味が増したり、英語学習へ意欲を高めるきっかけとなる交流の場になっている。

これらの２自治体のほかに、千葉県茂原北稜高校の海外研修の受入、公益財団法人 国際青少年研修協会による相互訪問などが行われている。

(3) 高円寺阿波おどりとサイパン阿波踊りチーム

小学生から２０歳前後の青少年３５人（視察時点）で構成されており、「彩帆連（サイパンれん）」と称している。サイパン市在住の日本人の方が、踊り等の指導や「東京高円寺阿波おどり」への参加等の支

援をされているほか、高円寺阿波おどり連協会の方が定期的に現地を訪問し、直接指導を行っている。

「東京高円寺阿波おどり」の際は10名ほどの選抜メンバーが、約1か月前から日本に滞在し、社会福祉施設等で阿波踊りの披露をしたり、他の地域でのお祭りに参加している。



【彩帆連の練習風景】

16 交通

サイパン市民は車を移動手段としている。住宅や商業エリアの通りは舗装された道路で、大通りには信号機も設置されている。

日本とサイパンの往来は、直行便が成田空港から週3回就航している。サイパンから成田空港についても同様に週3回である（令和7年7月4日時点）。

17 出入国（ビザ・税関申告）

サイパンへは、他のアメリカ合衆国領内とは違い、グアムおよび北マリアナ諸島連邦への電子渡航認証が必要となる。事前にインターネットで入手するもので、45日間の滞在が可能となる。

また、入国審査の際に電子税関申告の確認を受けることが必要である。これも事前にインターネットで手続きを済ませることで円滑に入国できる。

18 その他

(1) 買物や食事

通貨はUSドルで、ほとんどのお店ではクレジットカードの使用が可能となっている。

スーパーマーケットには、日本でも馴染みのある調味料や菓子などが揃えられている。

主食が米で、味付けも日本食に近いと感じる物が多い。



【日本製のスナック菓子】



【ライスが主食のメニュー】

(2) マニャガハ島

サイパン島から船で5分程のところにある、マニャガハ島は、珊瑚や小魚が見られる美しい海水浴場で、シャワー・脱衣所も完備され、監視員も配置されている。島へ入るときは、10ドルの入島税を納めることになっている。島の外周は20分程で歩く事が出来る。温暖化により海面上昇が引き起こす倒木などの状況を目にすることができる。



【マニャガハ島】

(マリアナ政府観光局「北マリアナ諸島オフィシャルガイド」から抜粋)

(3) バードアイランド

サイパン島北東部の岬の近くに浮かぶ石灰岩の無人島は、「バードアイランド」と呼ばれ、サイパンを代表する景勝地の一つとなっている。過去には、多くのウミドリが集まっていたが、現在は集まってくる鳥が減少しているとのことだった。この島の対岸には展望台があり、島の様子や、周辺の海に浮かんでくるウミガメを見ることができる。



【バードアイランド】

(4) グロット

サイパン北東に位置する海中洞窟「グロット」は、専用駐車場から約１００段の階段を下った所にあるサイパンを代表する観光スポットのひとつ。サイパン版の「青の洞窟」とも呼ばれるダイビングスポットとなっている。



【グロット】

“本報告書の作成にあたって”

サイパン市の視察の際には、サイパン市ラモン・R B・カマチョ市長に、解放記念日パレードにて見学しやすい場所に席をご用意いただくなど、円滑に視察が進むよう多大なるご配慮をいただいた。

また、市内各所の視察には、サイパン市にて都市間交流を担当されているテノリオ・ヒロコ氏がスケジュールを整え、全ての行程において案内と通訳を務めていただいた。

また、千葉県香取市および北海道登別市の担当職員の方々からは、サイパン市との交流に関して貴重なお話を伺うことができた。

これらの方々のご協力なしに、今回の調査・視察は成り立たず、本報告書の完成には至らなかったことを、申し添える。